

TES会中部支部 第126回クレーム事例勉強会

検討年月日	2018/2/16		Cグループ						
品名(品番)(写真)	オフホワイト 無地 パンツ								
 ○印部分への ブラックライト照射	組成	取 扱 い 絵 表 示	103	201	301	401	501	601	
	表地 アクリル 69%		104	202	302	402	502	602	
	ナイロン 23%		105		303	403		603	
	毛 7%		106		304			604	
	ポリウレタン 1%		107						
	裏地 ポリエステル 100%		ネット		あて布				
			無蛍光						
			中性						
申し出クレーム内容	ブラックライト下でなぐり書きのような異色が発現する								
クリーニング処理法	洗濯方法・回数不明								
グループ検討内容	・下げ札類が付いており、未着用、未洗濯と思われる ・蛍光灯の下で黒い汚れ(○印)は見えるが、写真の「ソ」字のような印跡は見えない ・印跡の形状から、黒い汚れを欠点として印付けしたと思われる [結論]黒い汚れに気付かず、縫製、製品化され、販売されたが、消費者が着用前に気付ぎ、店頭に申し出た。店頭からアパレルに返品され、生地メーカーへ戻されたが、ブラックライト下で蛍光ペンの欠点マークが見えることから、生地の検反段階で黒い汚れを欠点としてマークした際に使用した印であると説明された ・欠点箇所のマークに見えるインクを使用するか、蛍光ペンにするかは、アパレル、整理業者のいずれにおいても意見が分かれている								
検査機関検討内容	蛍光灯下ではほとんど判別できない。 黒い汚れ(欠点)の目印として使用か？ ・フリクションか無色の蛍光ペンと思われる。 フリクションなら冷凍する(一般的に-10℃以下)と複色する。 蛍光ペンなら水性(水に弱い)が一般的だが、絵表示は水洗い洗濯不可。 →本当は新絵表示でウェット可なのにもよるが、絵表示通りのドライクリーニングのみでは水性ペンは落ちきらない可能性があるため、大抵の場合には水洗い洗濯も実施する。(水洗い洗濯の代用として、水や洗剤を入れた水を使用して浸漬もしくは押し洗いにしてもよい。) その際に黒い汚れも同時に消えるか確認する。								

